

九月定例市議会(第三四回議会定例会)が九月十一日から二十四日まで開かれました。一般質問では、竹内、中村、福田、山本(弘)今西、西岡、田島、山崎、島内各議員が質問に立ち、執行部の考えをただしました。そして、産業再配置促進環境整備事業費を含めた一般会計補正予算、十一年ぶりの料金値上げとなる南国市水道給水条例の一部を改正する条例など、十議案を可決しました。

地域指定の進展は

問 地方拠点都市整備法の地域指定を受けるため、どのような計画が出来たのか。
答 各町村からの計画をとりまとめ、基本構想を作っている最中です。

基本は、広域的な視点に立った基幹道路の整備になります。その上で、どのような施設をどう配置するかについては、財源対策の面からも関係六省庁への対応をもとに決めていきたいと考えています。

行政と住民が一体になることが大切、シンポジウムも成功しましたので、次には各業界からの意見を聞いていきたいと思っています。

か。

答 吾国山文化の森については、前回の拡張の残事業として、具も対応を約束してあります。拠点都市構想のなかでの制度の活用を検討中です。

新県民文化ホール予定地は、吾国山しかないと考えています。約四千坪の広さがあり、造成に四億円かかっても、一坪当たり十数万円で済みます。ただ、土の処分が膨大であり、日本セメントだけでは処理出来ない、安く効率的に処分する方法を模索中です。

まちづくりは

問 駅前町の土地区画整理事業の地元説明はどうなっているのか。
答 土地区画整理事業は個人の権利関係や減歩の問題が大



大規模改修予定の西長中学校

六年度の二か年で完了する予定、引き続いて体育館の増改築を行う計画です。

問 県下九市の中で中学校に炊事室がないのは南国市だけ、中学校での文化教養を高める教育の一環としての炊事室の普及についてどう考えているのか。
答 十分協議したい。楽器購入などの問題もあるが、早く着手できるかのようにしていきたいと思っています。

住民の足の確保は

問 白木谷線はどうなるのか。
答 十電による自社運行方式で存続をお願いをし、国・県の補助金が打ち切られますので、南国市が肩代わりして負担をすることで協議が終わっているところです。

今後については地域のファミリー層に積極的に利用していただき、このバス路線を守っていくよう、事態の好転を図っていくかなければなりません。白木谷地区の人口定着化を図るために、白木谷地区の産業と組み合わせ、利用者も多くするこ

住民福祉は

問 高齢化社会に対応する行政機構にはどうするか。
答 今後高齢者は確実に増大します。立ち遅れないための対応が必要、全庁的な視野に立って、新年度にはなんらかの取り組みを検討していきたいと思っています。

問 住宅地では子どもの遊び場が少なくなっているが、確保する方法はありますか。
答 使用目的のない市有地や部落有の土地の活用、また私有地での借地方式による活用などが考えられますが、維持管理などをどうするのかなど検討しています。

問 まほろば祭りについての



将来、工電と西長西の社会

運行ができないか話し合っています。

北部の人口定着に

問 ソフトウェアセンターの今年度稼働は可能か。また、ハイテク団地への土地の分譲価格をどうするのか。
答 ハイテク団地の用地取得が一七割と、大口地権者との用地交渉が残されているため、進捗率が低い。開発予定地は既にボーリング調査・地質調査も終わっており、実施設計を伴成中です。年度内にセンターの建設予定地を確定したい。分譲価格については収支のバランスを取っていきます。財源は起債に頼らざるをえないが、人口定着、産業立地に

より安定した財源を得、償還にあてていきます。

香長中に現在地で

問 南国市での学校週五日制の実施状況は。
答 各家庭での理解はもとよ

感想を。
答 青年の力を結集したすばらしい祭りだったと感じています。来年からもこの場所ですらに発展させていたきたいと思っています。開業日や駐車場の確保、進入路などは、今後の検討事項として協議されています。

橋本知事は、九月定例県議会での一般質問の答弁のなかで、地方拠点都市整備法に基づく地域指定について、まず、南国・香美九市町村の地域指定を優先するとの考えを明らかにしました。

本格的な大災シーズンを前に、11月9日から15日までの一週間は、全国一斉の「秋の火災予防運動」。これからは、暖房器具など火気が多く使われ大災の多発シーズンになります。

今一度、火の元の点検を実行してください。

- ストーブは乾燥機ではありません
- 料理中の油に油断は禁物
- ベットや布団でたばこは吸わない
- 高齢者の住まいの防火は周囲の協力で、など

また、11月9日は「119番の日」です。皆さんの尊い生命と貴重な財産を火災や事故から守る「119番」。いたずら電話や間違い電話は急を要する人の迷惑になります。

可決された主な議案

■平成四年度一般会計補正予算(第一)補正予算規模は十八億五千四百四十四万円で、主なものは基金への積立金および繰出金、地域改善対策事業費、市道の維持補修費および改良事業費、地方拠点都市整備事業の核となる通産省の補助事業である産業再配置促進環境整備事業費など。

後の経営が困難となったため、昭和五十六年からの改正を行うもの。引き上げ率は一般家庭で一九割、南国市高齢者多世代交流プラザ新築工事請負契約の締結(高齢者の社会参加、生き甲斐作りを目的とし、世代間交流のための施設を十市支所跡地に新築するもの)。

ほ場整備事業シリーズ⑤

これからの南国市の農業に必要なほ場整備。シリーズで掲載中です。



整備前



整備後

ほ場と施設の管理

立派に整備されたほ場や道路、排水路、用水路もあとの管理が悪いと宝のもちぐされで、ねらった効果が見われなればかりか、いたみが著しく、修理や更新に大きな費用がかかることとなります。

工事が同じような出来れば、でも、後の管理の仕方によって四〜五年後のほ場は全く異なった状態になります。「ほとけ作って埋入れず」にならないようにしたいものです。また、施設の管理で重要な

ことは、悪いところが発見された場合なるべく早く修理することです。早くやれば何でもないことが、ほうっておくと大工事が必要なことにもなります。それと、水路も道路も自分のほ場のまわりの施設の維持管理は自分で全部責任を持つというような共同意識が大切です。

次回から、県営および団体のほ場整備事業採択基準についてや、一問一答形式での事業説明を行っていきます。

このシリーズでは、南国市の水道についてお知らせします

おいしい水 ②

おいしい水はまろやかな味

おいしい水というのは、味をよくする成分を含んでいる水であり、味を悪くする成分は含まないものをいいます。では、水をおいしくする成分にはどんなものがあるのでしょうか。

まず思い付くものにミネラルがあります。ミネラルというのは水の硬度の成分であるカルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウム、鉄、マン

ガンなど水中に溶けている鉱物質の総量のことですが、この量が水の味を左右する大事な要素といえます。すなわち、ミネラルの多すぎる水は、苦み、渋み、塩味などを感しさせ、逆にミネラルの少なすぎる水は、液白でこくのない、気の抜けたような味となります。南国市（平成四年八月現在の大穂）の場合は、一リ中百ミリほどを含む理想的なもので、穏和で円満な味、いわゆるまろやかな味がします。

つぎに、硬度があります。硬度とは、マグネシウム、カルシウムの合計量をいいます。この硬度は一リ中十〜百ミリが適当です。



また、炭酸ガスもこれが十分溶けていると水に新鮮でさわやかな味を与えてくれます。さらに、酸素を含んだ水というのは、新鮮味のある味となります。

逆に、水をまろくする成分には次のものがありますが、過マンガン酸カリウムは水口の有機物量を示す値です。また、塩素イオン（塩分）、鉄、銅、亜鉛（渋味）、マンガン、マグネシウム（苦味）も味をそこなわせる成分です。それに、いやなおいというものは水の味を著しく悪くする成分で、フエノール類（石灰酸のような臭気発する）、残留塩素（カルキ臭）が主なものです。

ところで、南国市が皆さんにお届けしている一立方メートルの給水原価は91・96円かかって

います。ところが供給単価はというと53・58円なのです。すなわち、公営企業である水道局が本業の「水を売る」商売で8・23円の赤字をだしています。

南国市は、市民のためにおいしく、安全な水を提供し、提供するために、適正な水道料金に改定するよう九月議会に提案し、可決されました。皆さんのご理解をお願いします。